資料０２

字幕表示システム導入と要約筆記サービスについて（照会結果）

問1　字幕表示システムの導入について、どのように考えますか。

□①導入する

【新友会・公明党・共産党・山﨑昭夫議員】

□②導入しない（以上で質問は終わりです。）

【次世代長野】

障がい者の合理的配慮について蔑ろにする意図は決してないが、要約筆記のサービスを提供していることや、費用面からして、字幕表示システムを早急に導入するべきとは捉えていない。聴覚障がい者の方や、聞き取りづらい方の利用している機器の議場への持ち込み緩和など別の手法も考えられることから、導入についてはまだ慎重な考えである。

□③その他

【改革ネット】

字幕表示システムと要約筆記サービスは、音声情報を文字にして表現する点は似ているが、障害者の情報保障という点で要約筆記サービスの専門性や優位性は考慮すべきである。
財政当局が想定するように、字幕表示システムが要約筆記サービスと重複する、替わりとなりうるかどうかについては、当事者である聴覚障害者や要約筆記者にご協力をいただき、9月定例会のデモンストレーションの機会も活用しながら確認をするのが良いと考える。

他方、議場での傍聴者向けに文字表示を行うこと自体にも、アンケート結果も見ると一定の意義はあると認識するが、財政状況が厳しい状況における導入の必要性、活用方策についてはもう少し練ったほうがよいとも言える。

それらを鑑みて、今回の予算要望をいったん取り下げ、目的や用い方等をより具体的に検討した上で、次年度に改めて導入を図ればよいのではないか。

問2　字幕表示システムを導入する場合、要約筆記サービスの運用をどのようにすべきと考えますか。

□①字幕表示システムと併用して運用

【新友会・公明党・共産党・改革ネット・山﨑昭夫議員】

（改革ネット）問1にも書いたように、聴覚障害者の情報保障として、少しであっても残すべきである。

（山﨑昭夫委員）問1で導入する、2では併用と致しましたが、議会報の全戸配布、INC での録画放送等、様々な手段を行っています。「予算」の関係などで、難しいならば、私は今まで通りの「要約筆記サービスで充分」であると考えています。

□②廃止（なし）

□③その他（なし）